

# 糖尿病性ニューロパチーと $\alpha$ リポ酸

- ① 糖尿病性ニューロパチーに対する $\alpha$ リポ酸の点滴と経口投与は、ドイツを中心にヨーロッパで保険診療で認められている正当な治療法である。
- ② 3週間の $\alpha$ リポ酸点滴治療の後、経口による $\alpha$ リポ酸内服治療をするのが糖尿病性ニューロパチーに対するオーソドックスな治療法である。
- ③ 点滴治療と比べ、経口治療はやや効果が落ちる。
- ④ 糖尿病による手足のしびれ、ほてり、痛みなどの症状が軽減するが神経伝達速度まで改善するという報告もある。
- ⑤ 糖尿病性ニューロパチー改善の理由としては
  - 1、 $\alpha$ リポ酸は、血管内皮細胞をグルコースやFFAによる障害から守り、毛細血管を拡張させて末梢神経の虚血を改善する。  
(糖尿病と $\alpha$ リポ酸⑤を参照)
  - 2、神経細胞のタンパク質・脂質・DNAを攻撃する活性酸素やフリーラジカルからの酸化ストレスを軽減する。
  - 3、毒性があり、かつフリーラジカルを生み出す水銀、カドミウム、ヒ素などの金属をキレートする。(デトックス作用)
  - 4、インスリン抵抗性を改善し、血糖値を神経障害性のない正常範囲まで改善させる。
  - 5、神経細胞のエネルギー代謝を改善する。
- ⑥ 応用として次のような疾患にも適用できると考えられる。
  - 1、抗がん剤によるニューロパチー
  - 2、手根管症候群
  - 3、坐骨神経痛
  - 4、アルコール性末梢神経ニューロパチー
  - 5、毛細血管の血流を改善することを利用して、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症の予防としても利用できる。